

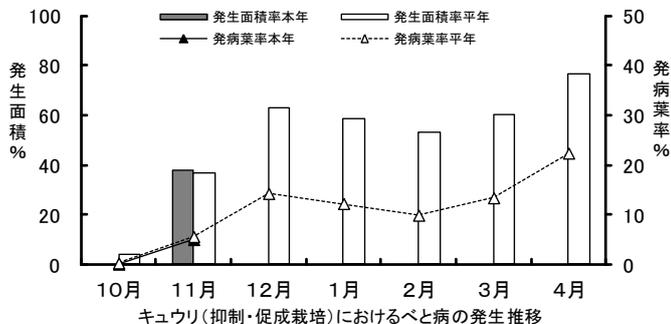
平成27年12月4日

## 高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月) 野菜類ダイジェスト版

### ● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

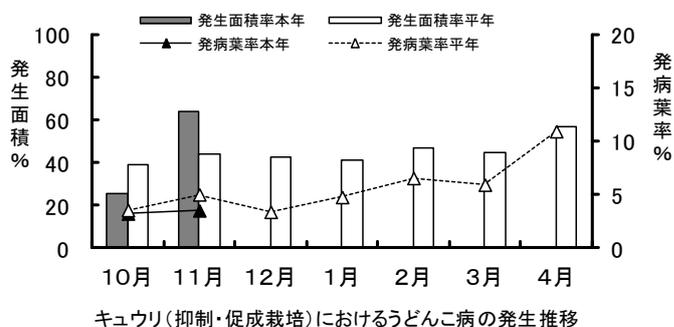
#### べと病 発生量: 平年並

発生面積: 中央部; 平年並、中西部; 平年並、西部; 平年並



#### うどんこ病 発生量: やや多

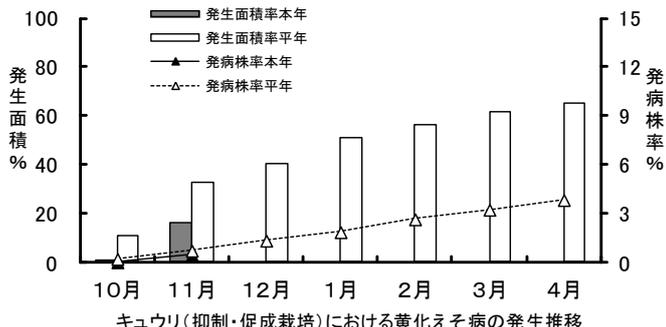
発生面積: 中央部; やや多、中西部; 多、西部; やや少



12月の降水量は多めと予想されるため、べと病の増加に注意してください。うどんこ病、べと病とも、蔓延すると防除が困難となりますので、早めに発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

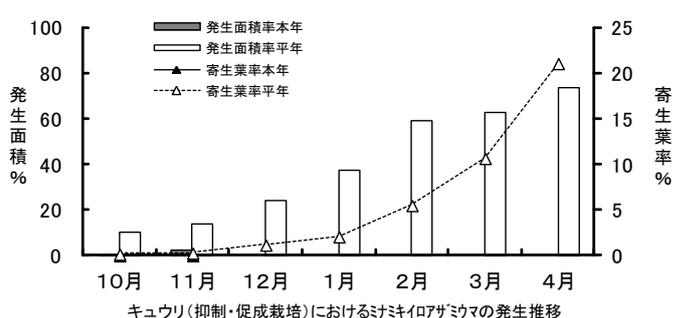
#### 黄化えそ病 発生量: 少

発生面積: 中央部; 少、中西部; 少、西部; 少



#### ミナミキイロアザミウマ 発生量: 少

発生面積: 中央部; 少、中西部; 少、西部; 平年並



黄化えそ病の発病株は伝染源となることから早期除去に努め、媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除も徹底してください。気温の低下にともない、虫数の増加は緩慢になるため、現在の発生状況が継続すると予想されます。キュウリ生長点部に寄生するミナミキイロアザミウマは発見が困難で、薬剤もかかりにくく、密度が高くなると防除が難しくなることから、初期防除を心がけてください。

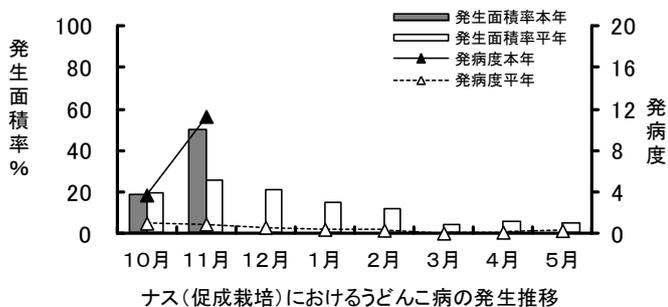
平成27年12月4日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)  
野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部・中央部・西部)

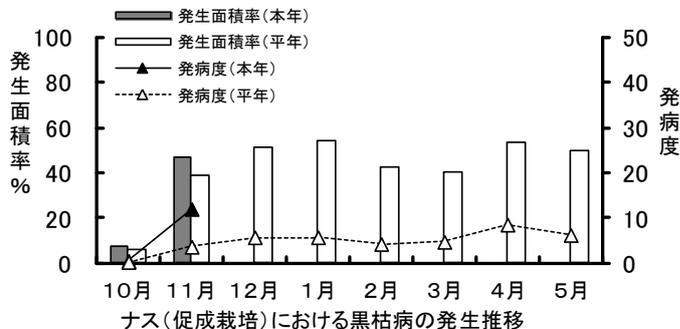
うどんこ病 発生量:多

発生面積:東部;多、中央部;多、西部;やや多



黒枯病 発生量:平年並

発生面積:東部;平年並、中央部;多、西部;平年並

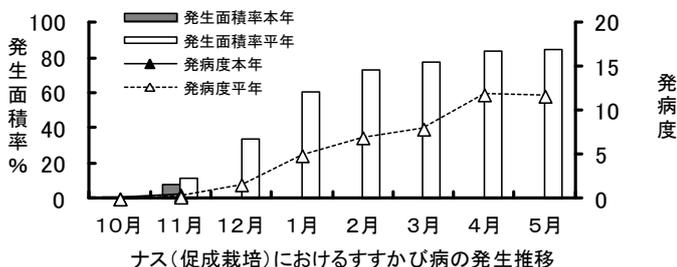


発生の程度も県全域で高くなっています。気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になるとは思われますが、温湿度管理、草勢管理を適正に行い、発病を認めた場合には初期から薬剤防除を行いましょ。

県東部から中央部にかけて、発生の程度は高くなっています。12月の降水量は多めで推移する予想で、発病の増加が考えられます。定期的予防散布に努め、発病の初期を見逃さないように注意しましょ。

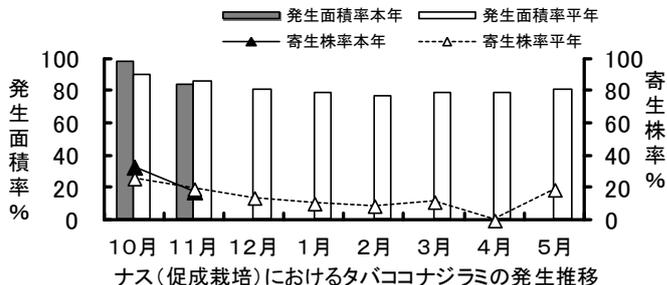
すすかび病 発生量:やや少

発生面積:東部;やや少、中央部;少、西部;平年並



タバコナジラミ 発生量:平年並

発生面積:東部;平年並、中央部;多、西部;平年並

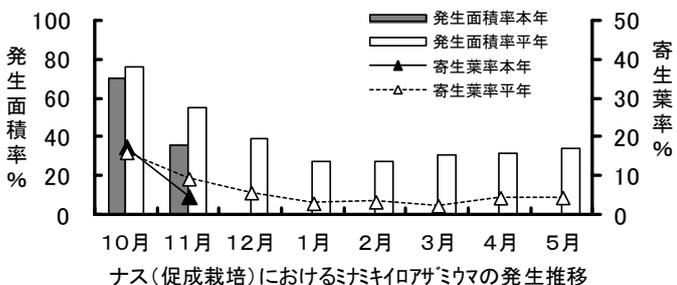


県東部では発病程度も高くなっています。12月の降水量は多めで推移し、病勢が進展すると予想されますので、定期的予防散布に努め、発病の初期を見逃さないように注意しましょ。

特に天敵導入ハウスでは、天敵の増殖と気温の低下により、密度はさらに低下すると思いますが、現在発生が多めのほ場では今後の発生動向に注意し、薬剤防除を行う場合は産卵の多い上位葉を中心に発生初期の防除を行いましょ。

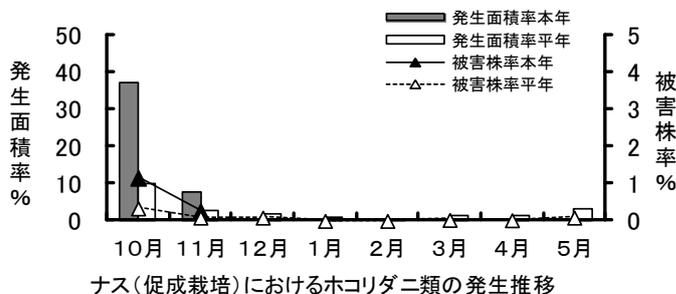
ミナミキイロアザミウマ 発生量:やや少

発生面積:東部;やや少、中央部;平年並、西部;少



ホコリダニ類 発生量:多

発生面積:東部;多、中央部;少、西部;少



特に天敵の増殖が遅れているほ場で発生程度が高くなっています。今後、気温の低下にともなって、密度の低下が予想されますが、天敵の増殖も遅くなります。それぞれの発生状況をこまめに確認し、被害の拡大が予想される場合には、薬剤防除を行いましょ。

気温の低下により、今後は密度の低下が予想されますが、多発すると防除が困難となりますので、発生初期の防除を徹底してください。薬剤防除を行う場合は成長点付近を中心に、周辺株も含めしっかり散布を行いましょ。

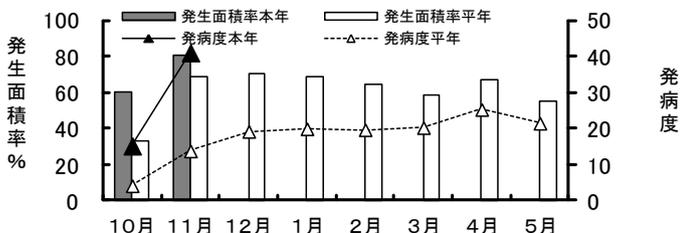
平成27年12月4日

高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月)  
野菜類ダイジェスト版

● 促成ピーマン(東部・中央部・中西部)

うどんこ病 発生量: 平年並

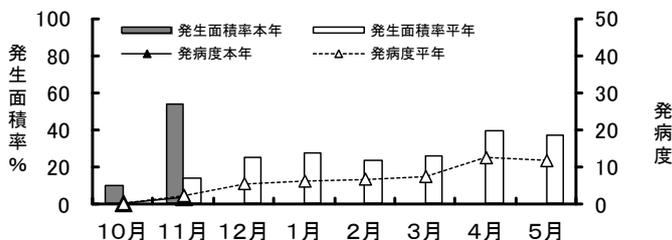
発生面積: 東部; やや少、中央部; 多、中西部; 平年並



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

斑点病 発生量: 多

発生面積: 東部; 多、中央部; 多、中西部; 多

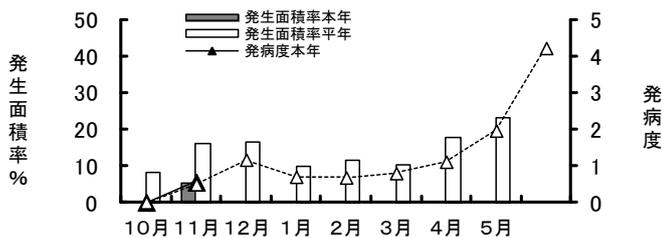


ピーマン・シトウ(促成栽培)における斑点病の発生推移

向こう1ヶ月の気象予報では、降水量は多いと予想され、斑点病の発生が助長されると考えられます。両病害とも蔓延すると防除が困難になるので、予防散布及び初期防除に努めてください。散布の際は下葉や葉裏へのかけ残しのないように丁寧に散布してください。

黒枯病 発生量: 少

発生面積: 東部; 多、中央部; 少、中西部; 少

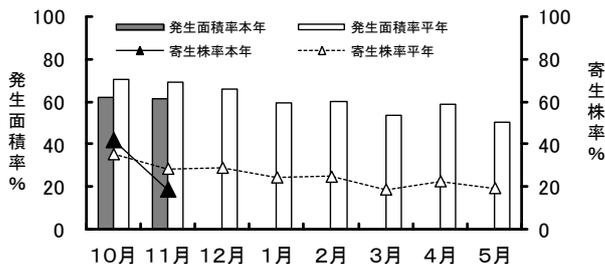


ピーマン・シトウ(促成栽培)における黒枯病の発生推移

発生程度も東部のみ高くなっています。12月の降水量は多めで推移し、病勢が進展すると予想されます。多発すると防除が困難となりますので、発生初期の防除を徹底してください。また、発病葉については早めに除去し、ほ場外へ持ち出して発生の拡大防止に努めましょう。

タバココナジミ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、中西部; 平年並

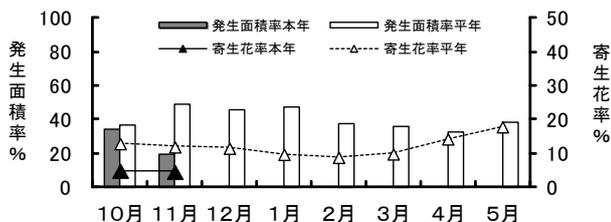


ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるタバココナジミの発生推移

スワルスキーカブリダニの定着状況にもよりますが、コナジミの成虫のみが見られる場合には、特に問題とはならず、天敵のエサとなっている程度だと考えられます。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 少

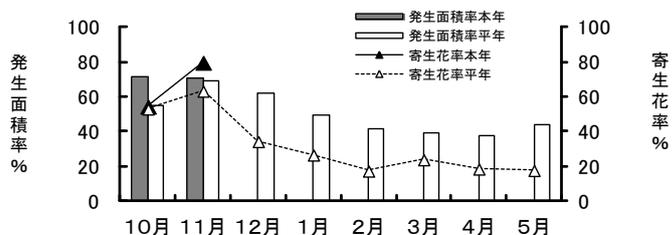
発生面積: 東部; やや少、中央部; 少、中西部; 平年並



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

ヒラズハナアザミウマ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、中西部; 平年並



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるヒラズハナアザミウマの発生推移

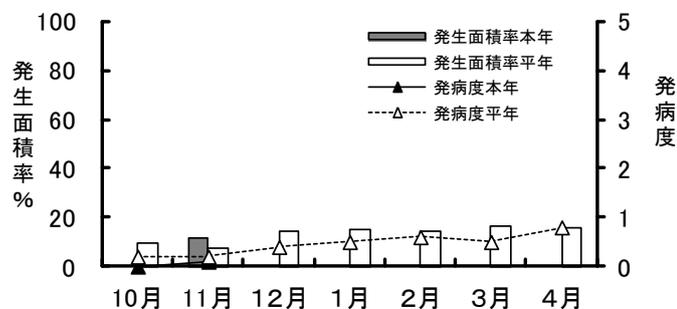
ミナミキイロアザミウマの発生程度は中西部の一部ほ場でやや高く、ヒラズハナアザミウマの発生程度は中央部と中西部で高くなっています。いずれも密度が高くなると防除が困難となりますので、低密度時からの防除に心がけてください。天敵導入ハウスでは、天敵の定着までは薬剤の散布は極力控え、散布する場合は影響の少ない農薬を選定しましょう。

平成27年12月4日

## 高知県病害虫発生予察11月月報及び予報第9号(12月) 野菜類ダイジェスト版

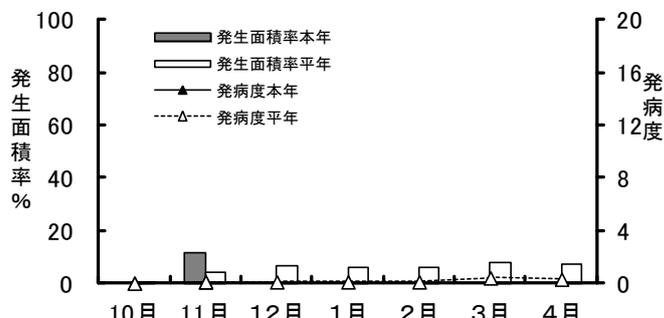
### ● 促成トマト(中央部)

#### すすかび病 発生量: やや多



トマト(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

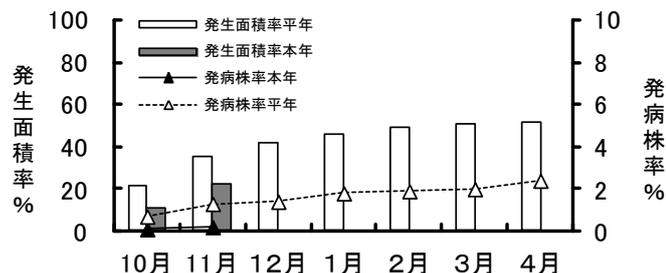
#### うどんこ病 発生量: 多



トマト(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

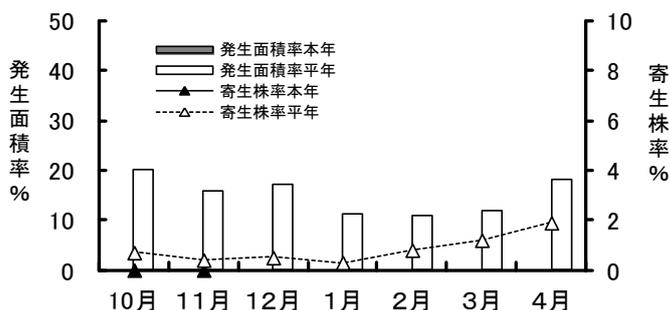
今後の予報では降水量がやや多く、天候によりすすかび病が急に拡大することがあるので注意してください。適切な温湿度管理、草勢管理および防除を行い発生の増加を防止しましょう。また、すすかび病とうどんこ病では防除薬剤が異なるので注意しましょう。

#### トマト黄化葉巻病(TYLCV) 発生量: やや少



トマト(促成栽培)における黄化葉巻病の発生推移

#### タバココナジラミ 発生量: 少



トマト(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

トマト黄化葉巻病の発生面積はやや少なく、発生程度も低くなっています。媒介虫であるタバココナジラミも発生が少なくなっています。発病株は感染源になりますので可能な限り除去し、タバココナジラミの発生が見られる場合には低密度のうちに防除しましょう。また、併せて粘着資材等による物理的防除も実施しましょう。